



若年性認知症をご存知ですか！？

若年性認知症とは？

65歳未満で発症した認知症のことです。

働き盛りの年代に発症するため、経済的な問題や生活の維持、就労、家庭への影響も大きく深刻となることが考えられます。

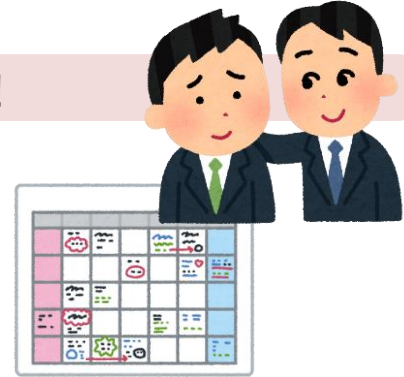
若年性認知症の方を職場で支える！

職場や個人の理解が必要です。

上司の方の見守りや、以下のような対応の工夫が考えられます。

- 普段よく使うものは決まった場所に配置する。
- 備品等の引き出しにはラベルを貼付して内容物を明示する。
- 多くの情報を一度に提示するのではなく、大切な情報のみを伝える。
- カレンダー、スケジュール、ホワイトボード等を活用し、周囲も予定を確認しやすくする。

「若年性認知症における治療と仕事の両立に関する手引き」より



認知症（若年性認知症を含む）に関する企業向け研修のご案内 認知症の専門家が県内企業に出向きます！

若年性認知症は働き盛りの年代に発症することから、就労継続を含め、その後の支援のためにも企業の理解が欠かせません。

職場における理解を深め、より働きやすい職場づくりを行うため、出前研修を実施しています。
詳細は、別紙をご覧ください。

毎年11月8日は「いい歯の日」です！

「痛みがないから歯科医院に行かなくてもいい」と思っていないですか？

痛みがなくても歯周病※1が静かに進行していることがあります。

- むし歯や歯周病はないか？
- プラーク（歯垢）は落とせているか？
- 使っている歯ブラシは、自分の口に合っている？

など、歯科医院で解決できます♪

若い時から**歯科医院を受診する習慣が「いい歯」への近道**です。



※1 歯を支えている組織(歯肉や歯を支える骨など)の病気。初期は痛みがなく、放置すると歯が抜けてしまう。